

くすの木

＜清水小学校めざす児童像＞

「しっかり考える子」「自らよく行う子」

「すこやかな子」

令和4年7月号

校長 迎 和人

29日の「平和学習」

6月は「いのちを見つめる強調月間」として、命にこだわった学習をしてきました。29日は、5年生が佐世保空襲について学習したことを、ビデオで発表しました。佐世保市のHPには、佐世保空襲について、以下のように書いてあります。

第二次世界大戦中の昭和20(1945)年6月28日から29日にかけて、佐世保の市街地は、アメリカ軍の爆撃機による大規模な空襲を受け、多くの犠牲者が出ました。

佐世保市では、毎年6月29日を「佐世保空襲の日」と定め、「佐世保空襲死没者追悼式」を執り行っています。

この集会で、私も放送で話をしました。

ツバメが飛んでいるのを見て、楽しいと感じる。これは平和だからそう感じる。戦争をしていたら、そのような余裕はない。平和はありがたい。皆さんには、いろいろな問題を解決するために、自分の考えを言葉で説明し、話し合っ解決する力をつけてほしい。そのために皆さんは、毎日勉強している。あいさつも同じだ。あいさつをされてうれしく感じる人はいても、怒る人を見たことがない。平和につながるあいさつを、この清水小学校から広げていきたい。

私は、日本の平和がずっと続いてほしいと思っています。また、世界中の争いごとが、一日でも早く解決できることを祈っています。

生きる力の源＝給食！



本校には、エレベーターがついています。4時間目が終わると、私はエレベーターボーイ(?)をしています。給食のおかずを運ぶ子どもたちの手伝いです。

「今日の〇〇はおいしいよ」と話すと『もう食べたのですか?』と不思議な顔をします。実は、私、子どもたちよりも30分早く給食を食べています。いわゆる「お毒見」です。正式には、「検食」といいます。読んで字のごとく、「検査のための食事」です。給食が子どもたちの口に入る前に異常がないかを確認めるのです。

本校の自慢すべきところがあります。それは、給食の残菜(食べ残し)がほとんどないところです。私は「生きる力」＝「食べる力」と考えていますので、本校児童には、「生きる力がある」と思っています。

給食は和食・洋食・中華いろいろなメニューがあります。普段家庭で食べないような食材も出てきます(いつか詳しく話します)。まさに給食は、「食」の世界旅行です。

28日、九州北部は梅雨明けしました。統計開始以来最も早い梅雨明け(これまでの最早:1994年の7月1日)で、梅雨期間は17日間で最短を更新(これまでの最短:1978年と2017年の23日間)したそうです。暑い夏、ギラギラの太陽!本格的な夏の到来です……水不足が心配です。平成6年(1994年)の大渇水みたいなにならないことを祈ります。心配だなあ。また、水の事故の報道が多くなりました。これも心配です。十分気をつけさせたいですね



＜報告＞

以前協力をお願いした「煙草のポイ捨て」は、なくなりました。ありがとうございました。煙草を吸った形跡はあるのですが、「ポイ捨て」はなくなったので、火事の心配はなくなりました。でも、敷地内は禁煙ですので、これからも皆様のご協力をお願いします。公共の場は、ルールを守って気持ちよくよく使いたいものです!